外国語科学習指導案（略案）

1. 単元名

オーストラリアの子どもたちに自己紹介をしよう。

2. 単元目標

名前や誕生日、好きなものなどについての自己紹介を聞いて概要を捉えたり、オーストラリアの子どもたちに自分のことや日本の子どもたちのことを知ってもらうために、名前や誕生日、好きなものなどを含めて伝え合ったりすることができる。

3. 単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 聞くこと | ＜知識＞◯I’m \_\_\_.， I’m from \_\_\_\_.，My birthday is \_\_\_\_\_.，I like \_\_\_\_\_.，I can \_\_\_\_\_\_.など，自己紹介に関する語句などについて理解している。＜技能＞◎名前や好きなこと、誕生日などについて概要を捉える技能を身につけている。 | ◯相手のことをよく知るために，名前や好きなこと、誕生日など自己紹介の概要を捉えている。 | ◯相手のことをよく知るために，名前や好きなこと、誕生日など自己紹介の概要を捉えようとしている。◯オーストラリアやフィリピンなど、外国の文化に対する理解を深めるために自己紹介の概要を捉えようとしている。 |
| 話すこと[発表] | 本単元では，記録に残す評価を行わない。 | ◎相手に自分のことがよく伝わるように工夫しながら、既習の基本的な表現などを用いて名前や誕生日，好きなことなどについて伝えている。また、互いのことをよく知るために，相手の考えや思いをくみ取るなどしながら伝え合っている。 | ◎相手に合わせて自分のことがよく伝わるように既習の基本的な表現などを用いて相手に伝え合おうとしている。◯世界の国について、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いのことを知るために基本的に表現を用いながら伝え合おうとしている。 |
| 話すこと[やり取り] | ＜知識＞◯名前や自分の好きなこと、誕生日などについて理解している。＜技能＞◎名前や自分の好きなこと、誕生日などについて相手を意識して伝え合ったりする技能を身につけている。 | 本単元では，記録に残す評価を行わない。 | 本単元では，記録に残す評価を行わない。 |

4. ICTの活用について　　　※活用場面を「5. 単元の指導計画（略案）」に★マーク＋①～④で表示

①学習者用デジタル教科書

学習者用デジタル教科書にある音声再生機能を用いて、単語や表現を音声で聞くことができる。また、音声をまねして口ずさみながら言い方に慣れることもできる。「音声を全て聞いて全て言えるようになろう」など機械的な練習を促すような指示は出さず、「次の時間にALTの先生に伝えたいものを選んできてね」というように授業で出てきた子どもの気持ちや思いを考えながら課題を設定する。

②動画撮影

一人一台のタブレットPC端末を用いて各自で動画撮影を行う。次時に本番の動画撮影（オーストラリアの子どもたちに送る動画）をすることを伝えるなど課題の目的を設けると、何度も繰り返し言う練習をしたり自分の発表を客観的にみながら改善したりする姿が期待できる。

また、指導者が子どもたち一人ひとりの動画を見ることができるので、子どもの状況把握が容易となる。動画からわかったことについて、全体に伝えるべきことの確認や個別支援の具体的なアプローチの準備などを事前に行い、次時の授業作りに生かすことができる。

③ファイルの共有

　クラウド上にアップロードされた動画を１つのファイルにまとめ、ファイルの共有を行うためにURLを共有し、掲示することで他の子どもの動画も見られるようにする。動画を見ながらよいところをまねしたり自分の発表に気づきを見つけたりするなどの各自の学びが期待できる。また、ファイルの共有は見たい時に見にいくことができることが利点なので、子どもの確認したいタイミングで見たり何度も見返したりできるように，単元が終わるまでURLは共有しておく。

④スライド

　子どもが撮影した自己紹介の動画をクラスごとにスライドにまとめ、各自の動画がすぐに見られるようにする。ファイル共有よりも見ることが容易になるが、ICTスキルによっては自分以外のデータを消去するなど誤操作が起こってしまうので注意したい。

5. 単元の指導計画（略案）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 各時間の目標（●）と主な学習活動（〇）家庭学習（◆）ICTを活用する学習活動（★①～⑤） | 評価 |
| 1 | ●様々な国の人の自己紹介を聞き、その概要を理解しようとする。 |
| 〇アルファベットをヒントに指導者や学年の先生の名前を当てながらI’m \_\_\_\_\_.の表現に慣れ親しむ。〇指導者の自己紹介を聞き、概要を捉えたり、既習表現をもとに質問したりする。〇世界の様々な挨拶を聞いてどこの国か当てるやりとりをしながら国の名前を言う。〇様々な国の人の自己紹介を聞き、名前や出身国、好きなことなどを理解する。 | ※本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。 |
| 2 | ●名前や出身地を伝え合うことができる。 |
| Small Talk：学校の先生の出身地を当てよう〇学年の先生の出身地を当てる活動を行い、出身を言いたい時の表現を理解する。〇他の学年の先生になりきって出身地を当てる活動を行いながらI’m from \_\_\_\_\_.を用いてやり取りする。◯手本を見ながら自分の名前をアルファベットで書き写す。 | ※本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。 |
| 3 | ●名前や誕生日を伝え合うことができる。 |
| ◯出席番号ゲームをして序数の表現に慣れる。◯31を言ってはいけないゲームをしながら序数を言う。〇先生になりきって誕生月を当て合いながら月の名前を伝え合う。◯誕生日チェーンをしながら自分の誕生日を伝え合う。 | ※本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。 |
| 4 | ●自分の好きな日本のものを伝えることができる。 |
| Small Talk：自分の好きな日本のものを海外の人に伝えよう◯海外の人に紹介したい自分の好きな日本の食べ物や観光地を考えたり言ったりする。〇次時はALTに自己紹介することを知る。＜家庭学習として＞◆学習者用デジタル教科書を用いて「食べ物」や「観光地」に加えて「行事」の音声を聞いたり口ずさんだりする個別学習を行う。　★① | ※本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。 |
| 5 | ●ALTに日本のことが伝わるような自己紹介の内容を考えようとしている。 |
| Small Talk：ALTの自己紹介を聞き、フィリピンのことを知ろう◯ALTの自己紹介を聞き、内容を捉えたり、既習表現を用いて質問したりする。〇ALTに日本のことが伝わるように自己紹介の内容を考え伝える。◯手本を見ながら自分の名前や好きなものを書き写す。 | ※本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。 |
| 6 | ●オーストラリアの子どもたちに日本のことが伝わるように，自己紹介の内容を考え，友だちと伝え合うことができる。 |
| Small Talk：◯◯先生だったらどんな自己紹介をするでしょう◯外国の友達に◯◯先生だったらどんな自己紹介をするか考え、伝え合う。〇オーストラリアの子どもたちにどんな自己紹介をするか考え、ペアの人に伝えたり全体で発表したりする。◯次時にオーストラリアの子どもたちに見てもらう自己紹介動画を撮影することを知る。＜家庭学習として＞◆自己紹介の動画撮影をし、提出する。共有ファイルから友だちの動画を見たり自分の動画と比べたりして次時に動画撮影ができるよう準備する。　★②③ | 話すこと[やり取り]【技】 |
| 7 | ●オーストラリアの子どもたちに日本のことが伝わるように，自己紹介をすることができる。 |
| 〇オーストラリアの子どもたちに向けた自己紹介をグループで見合い、内容の最終確認や発表の方法を確認する。◯ペアで動画撮影を行う。◯撮影した動画を１つのスライドにまとめる。 | 話すこと[発表]【思】【態】 |
| 8 | ●オーストラリアの子どもたちのことをよく知るために，自己紹介を見て、概要を捉えることができる。 |
| 〇オーストラリアの子どもたちが作った自己紹介のスライドを見ながら内容を捉える。★④◯同期型交流会で質問したいことやどんな活動をしたいか考える。◯手本をもとに自分の自己紹介を書き写す。 | 聞くこと【技】 |